

# 街道を歩く

## 萬古神社

昭和10年創設、萬古焼始祖沼波弄山を祀る。四日市萬古焼きの礎となる。



## 笹井屋

創業天文19年(1550)。日永の長餅で有名。鉄道開通後日永よりここに移る。藤堂高虎が足軽の頃この餅を食べ「武運のながき餅を食うは幸先よし」といったとか。津35万石の領主となる。



## 建福寺 (曹洞宗)

浜田城主の菩提寺。室町末期の仏涅槃図、洒水の井戸の1つが残る。(四日市の雅号を洒水の里という)



## 諏訪神社 (祭神 建御名方主命)

建仁2年(1202)信州諏訪神社の分霊を奉遷したと伝えられる。ご神体は鎌、武勇の神、農業の神として信仰を集める。



## 浜田城址、鵜の森神社

文明2年(1470)田原影信の末子忠秀築城城跡に鵜の森神社が建つ。忠秀はムカデ退治で有名な田原藤太秀郷の末孫忠秀のあと4代続くが元龜3年(1572)滝川一益に攻められ落城。神社は秀郷他を祀る宝物 十六間四方白星兜鉢は国重文。

神社境内の浜田城址碑

## 丹羽文雄生家・記念碑

生家は街道沿い崇願寺 1904年生まれ、4歳母死別、祖母に育てられる。鵜の森公園に記念碑が建てられている。



記念碑

## 大宮神社 (祭神天照大神他)

往古は500M西の海辺にあり舟付明神と呼ばれていた。焼失し永禄5年この地街道筋に移る。倭姫が天照大神の御杖代として行幸の折この社に一時留まった伝えもある。

## 東海道: 03羽津町一日永四丁目 (四日市市)

四日市宿 (江戸から43番目、桑名宿から3里8町) 街は港と市場から発展した。市場は浜田城築城の時整備され(文明2年1470)。当時は5カ所に定期市が開かれていた。やがて毎月4日と定められ四日市の名がついた。

本陣2、脇本陣1、問屋場1、旅籠98天保14年(1843)



[弥次・喜多] 四日市宿に入り宿で夜這いの途中、同宿の田舎者の地蔵様を壊す  
はいかけし地蔵の顔も三度笠  
またかぶりたる首尾のわるさよ  
やうやうと東海道もこれからは  
はなのみやこへ四日市なり



JR駅前の像

稲葉三右衛門 天保8年(1837)美濃高須に生れる。回船問屋稲葉家の養子となり19歳で6代目三右衛門を継ぐ。安政の大地震で壊れた。港湾の修築を決意し、単独で明治6年着工。資金他に困難を極めたが明治17年完成する。



潮吹き防波堤(国重文) 明治22年台風後オランダ人デ・ケールらの考案。

日永神社(祭神天照大神) その前は南神明社と呼ばれ明治40年から日永神社となる。創祀は鎌倉時代の建仁年間(1201-4)と言われるが不明 天正年間(1573-92)に信長の兵火に遭う。神戸藩主本多家の崇敬厚く本多家家紋入りの備品残る。境内に日永の追分にあった道標(明暦2年1656)が残る。